

国語の二年生と「お手紙」

H.26 7月7日
<No.5>

国語専科 渡邊

「お気に入りの物語」

好きな場面と

そのわけ

ふたりはシリーズは全部で二十個の物語があります。すべてにかえるくんとがまくんが出てきますが、それを物語なりではのあもしろさ、樂しさがあります。

「お手紙」で学習したこととともに自分で選んだお気に入りの本で、好きな場面とそのわけを考えました。

○「すいえい」

好きな場面は、がまくんがまだ水につか、ている場面です。この場面のがまくんがすきです。りゆうは、がまくんがりにつか、ついてかかるくんが他のとうがつに「あうち」とくれよ」と言つたからです。がまくんは、ひやい思いをしたと思します。ほくもかなしい気持ちだ、たとえます。ほくもかなしい気もちです。

○「クリスマス・イブ」

好きな場面は、かえるくんがあなにおちたらいやだと思つて、がまくんがたすけにいこうとしたいた場面です。この場面のがまくんが好きです。

○「くん

そのわけは、かえるくんがこないから、がまくんがこないからがまくんがあなとおちたらかりです。がまくんが心はいしているからです。ほくもだれかこなか、たらじはいになります。

好きな場面は、がまくんが川から出てみんながわらった場面です。この場面のがまくんが好きです。そのわけは、がまくんがみんなにわらわれていたからです。がまくんはきっとはずかしごりやでかえるくんはやさしい人だとほくは思いました。ほくは、がまくんをたすけたい気もちになりました。

○「はやくめを出せ」

好きな場面は、がまくんがたねたちに、うたやしをよんだ場面です。この場面のがまくんがすきです。そのわけは、ほくががまくんがれただろくなあと思つたからです。がまくんは三日もつづけてたねたちにうたやしをよんでもあげたから、すごくがんぱりやな人だなあと思いました。くたくただ、ただろくなあ。

○「なくしたボタン」

好きな場面は、がまくんが上きあげてかかるくんがとてもよろこんだ場面です。この場面のがまくんがすきです。なぜなら、がまくんはきつと上きをあげたくないだろうけどかかるくんにあげたらかかるくんがよろこんだから、うれしかっただろくなと思いました。わたしは、がまくんは上きをあげたからえらいなあと思いました。

○「友だちと会話をしました。」

ちゃんのわけで、がまくんははずかしがりやなんだと気づいたよ。
（さん）
交流で、がまくんのがんぱり発見!!

★班ごとに、友だちとの交流を通してシリーズ読書も入れて共通することを話しました。「発見」というのは、班ごとに子どもたちが見つけ考へ出した共通点です。夢中になって話す姿が見られました。